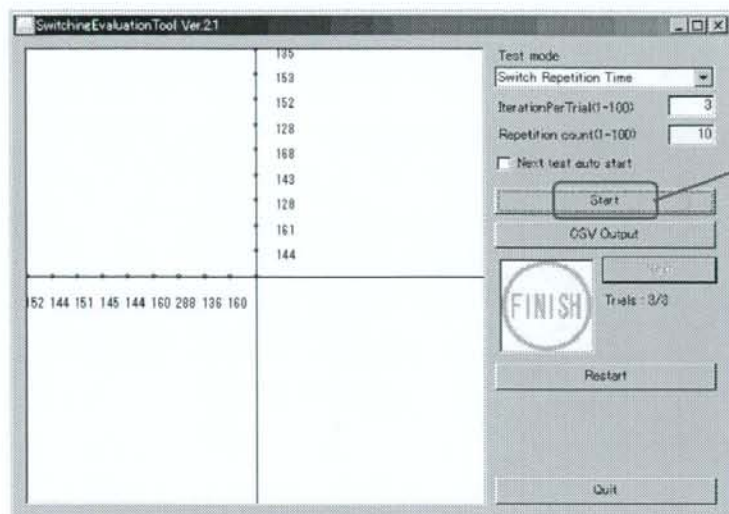


- (5) 1回目と同様にスイッチ操作を行い、評価を行って下さい。
3回目まで完了すると評価は終了です。



- (6) 評価結果を出力します。「CSV Output」ボタンを押下して下さい。
評価結果の確認方法は『Switch Close Timing Spread』と同様です。

Switch Repetition Timeモードの手順は以上です。

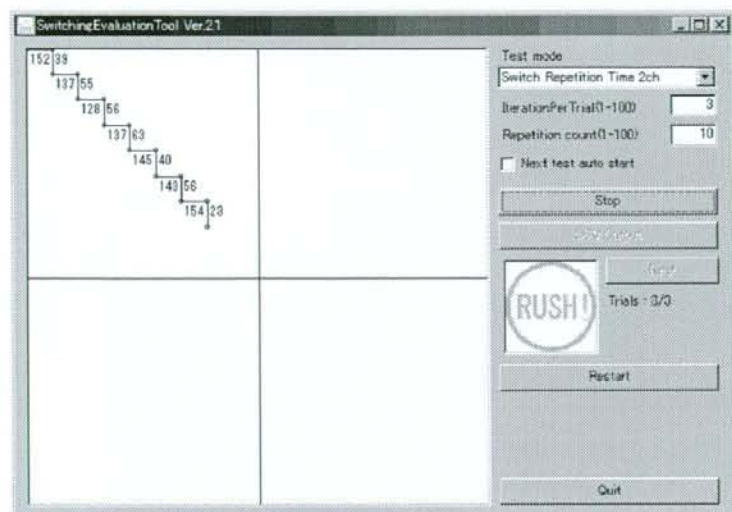
スイッチ押下のタイミングと動作を簡易的に記述すると以下のようになります。

操作	動作
1 スイッチ連打	○と押下間隔が表示されます。 横、縦それぞれ指定回数まで連打して下さい。
2 評価終了	評価終了です。 指定回数押下するのにかかった時間により評価されます。

1.16 9.7. Switch Repetition Time 2chモード

『Switch Repetition Time 2chモード』は2つのスイッチを交互に連打し、指定回数に達するまで時間を測定します。

手順、評価結果の確認は『Switch Repetition Time』と同様ですが、ch1、ch2のスイッチを交互に押下する必要があります。



スイッチ押下のタイミングと動作を簡易的に記述すると以下ようになります。

	操作	動作
1	ch1から開始し、2つのスイッチを交互に連打	○とch1押下からch2押下にかかった時間、ch2押下からch1押下にかかった時間が表示されます。指定回数まで連打して下さい。
2	評価終了	評価終了です。指定回数押下するのにかかった時間により評価されます。

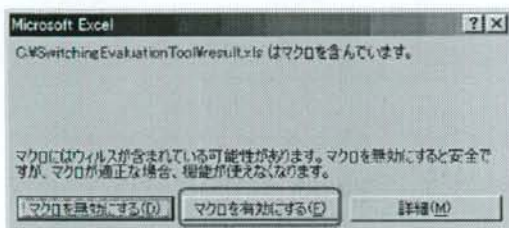
10. 結果表示・比較ツールの利用

結果表示・比較ツール(result.xls、result_multi.xls)を利用して、評価結果の確認や比較が可能です。

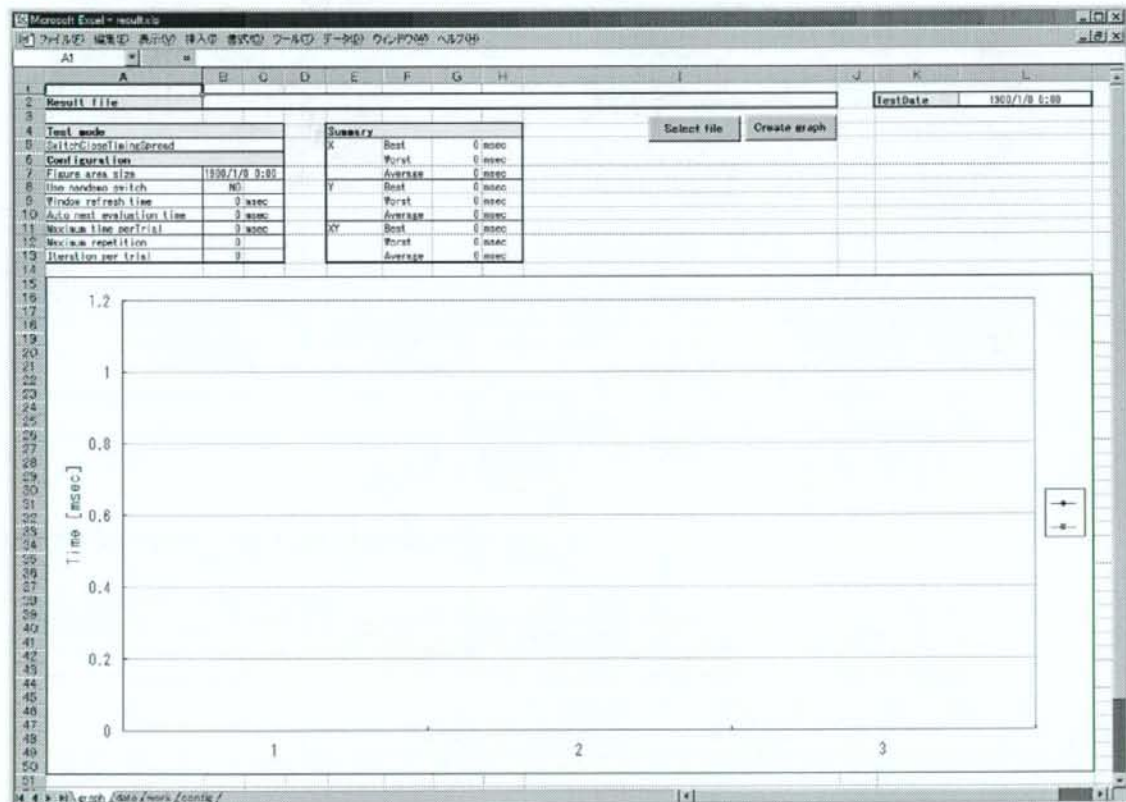
1.17 10.1. 単一評価結果ファイル参照手順

(1) 1つの評価結果ファイルを参照します。「result.xls」を起動して下さい。

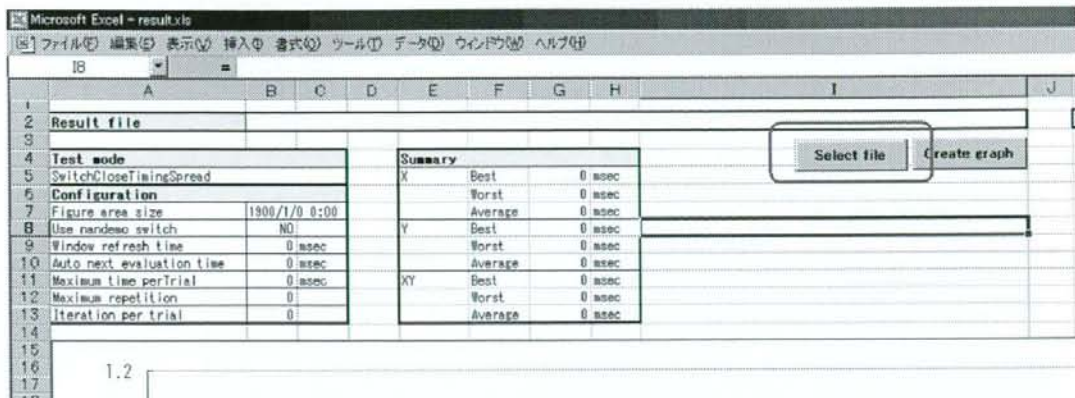
以下のようなメッセージが表示された場合、「マクロを有効にする」ボタンを押下します。



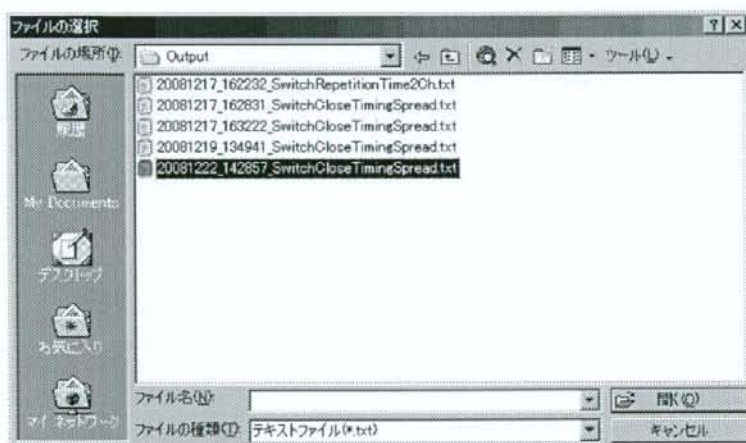
ツールが起動します。



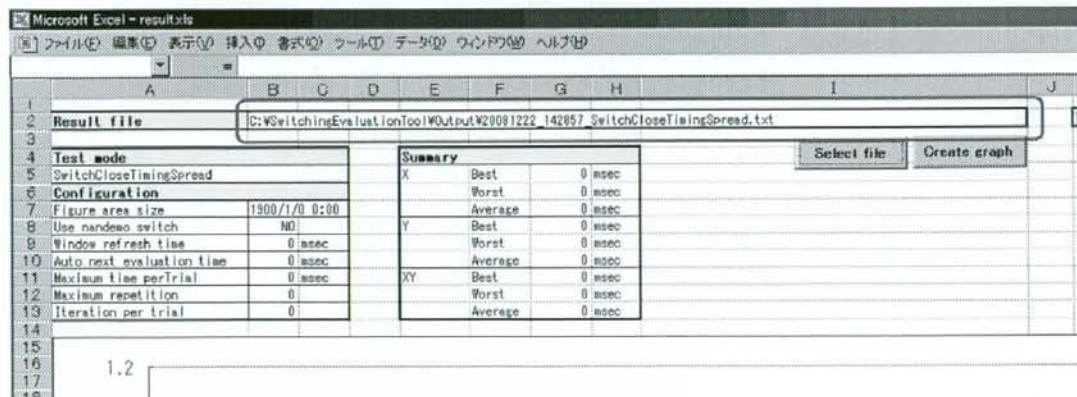
- (2) 確認するファイルを指定します。「Select File」ボタンを押下して下さい。



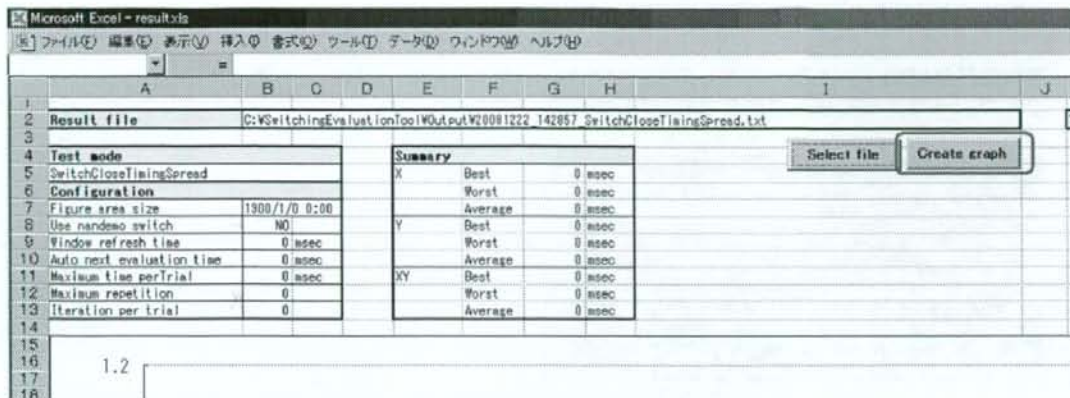
- (3) Switching Evaluation Tool の CSV ファイル出力機能で出力したファイル(拡張子が“.txt”のもの)を選択します。



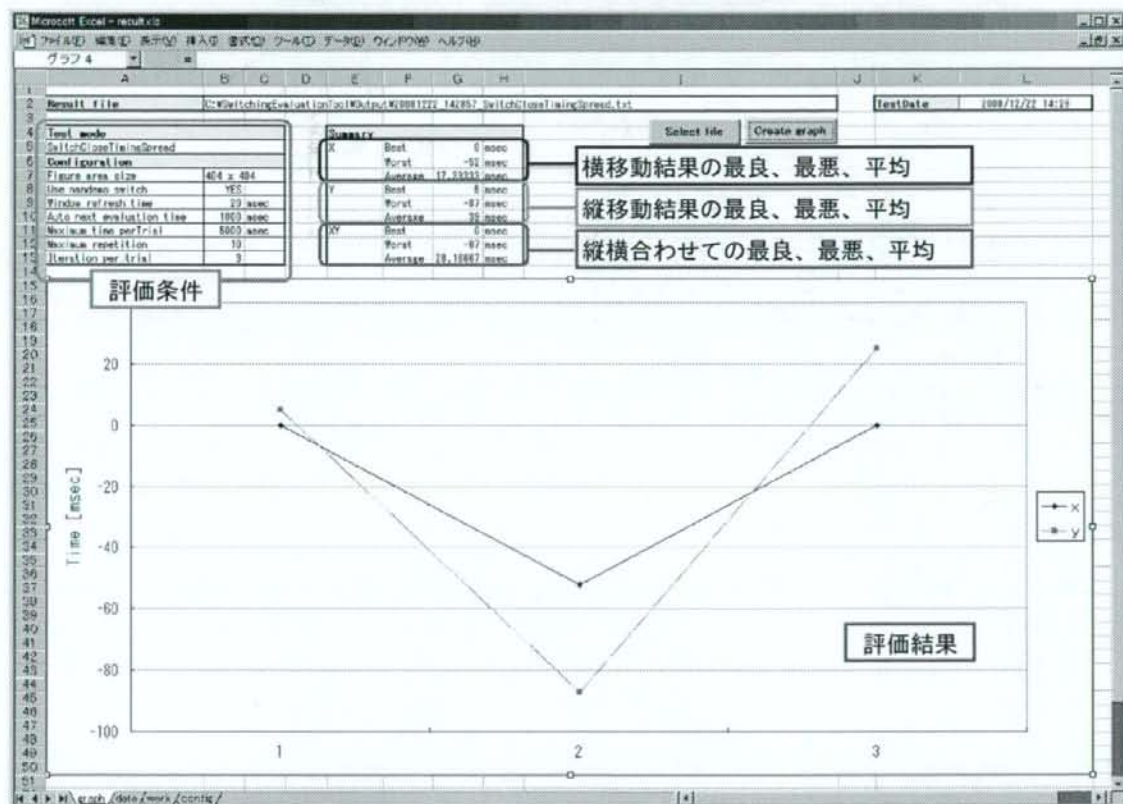
- (4) 選択したファイルが「ResultFile」欄に表示されます。
ここでは「Select File」ボタンによりファイルを選択しましたが、直接「ResultFile」欄にファイル名を入力しても構いません。



- (5) ファイルの内容を読み込みます。「Create graph」ボタンを押下して下さい。

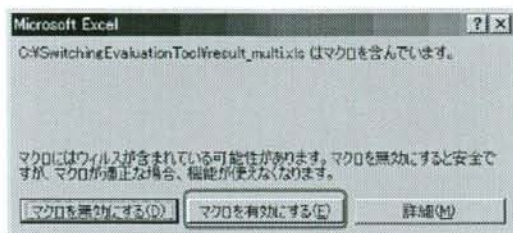


(6) 評価条件、最良、最悪、平均値 及び 評価結果がグラフ表示されます。

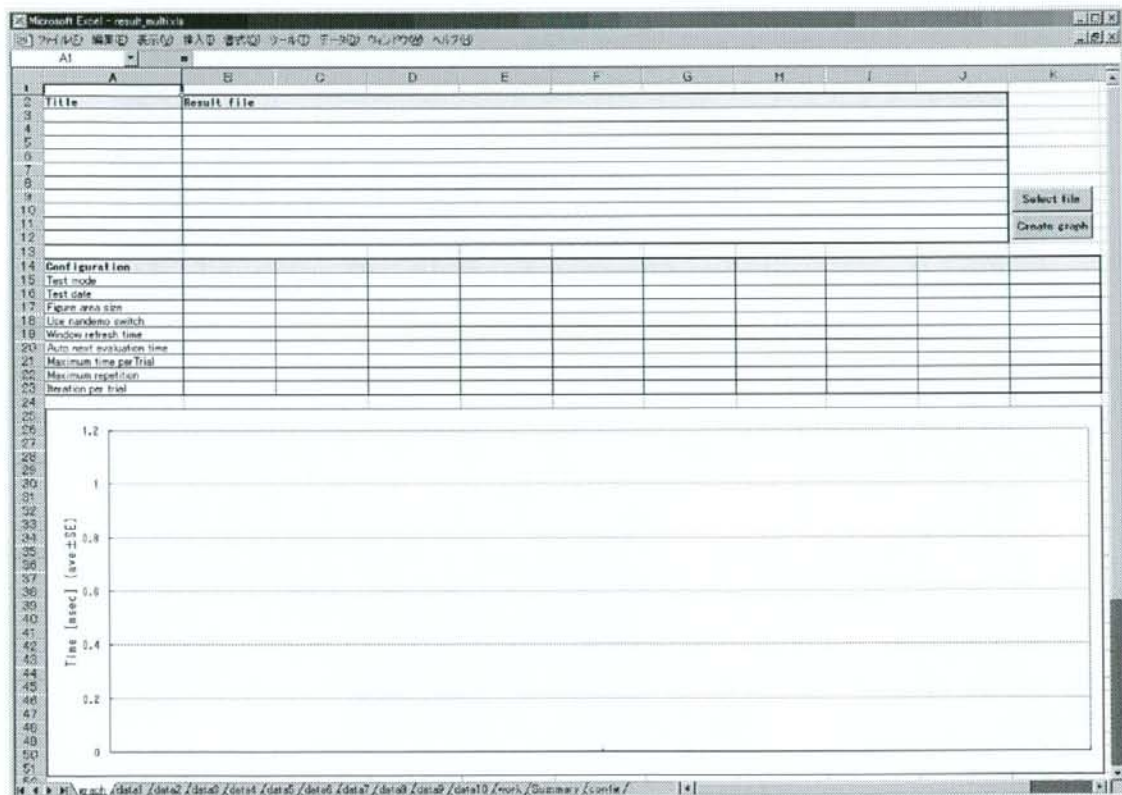


1.18 10.2. 複数評価結果ファイル参照手順

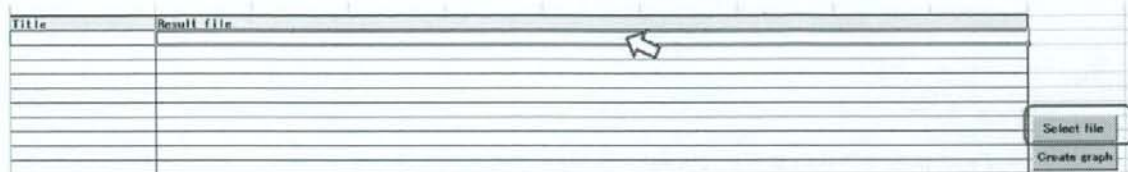
- (1) 複数の評価結果ファイルを参照します。「result_multi.xls」を起動して下さい。
以下のようなメッセージが表示された場合、「マクロを有効にする」ボタンを押下します。



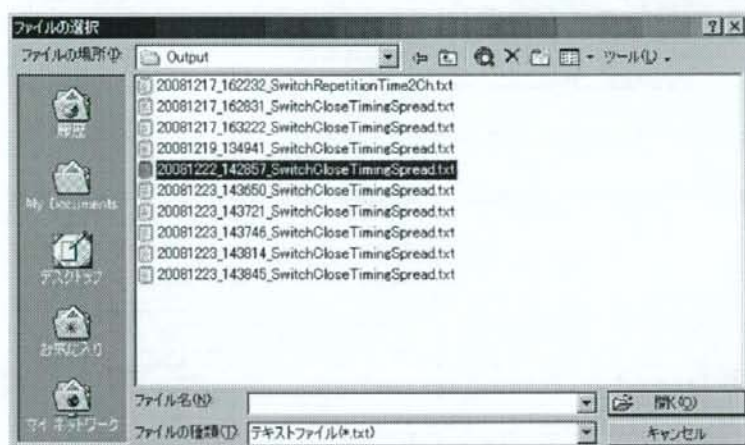
ツールが起動します。



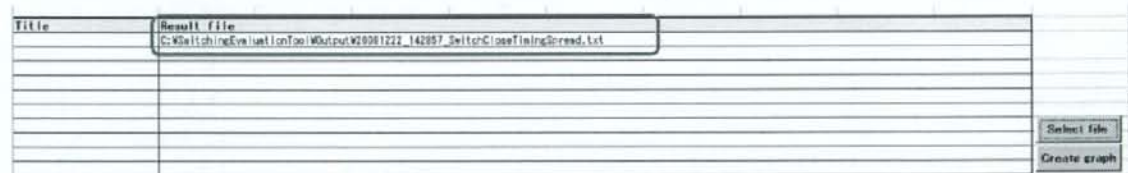
- (2) 確認するファイルを指定します。
 ファイルは「Result file」欄に最大 10 ファイルまでセット出来ます。セットしたいセルをクリックしてから「Select File」ボタンを押下して下さい。



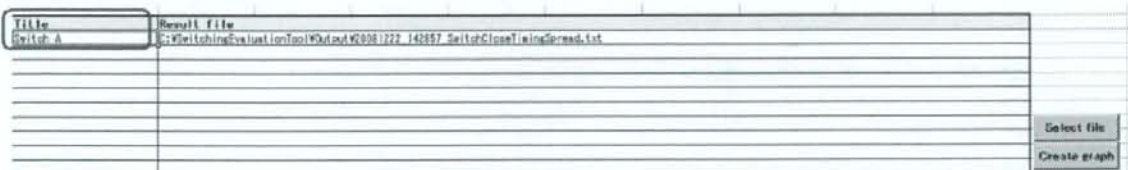
- (3) Switching Evaluation Tool の CSV ファイル出力機能で出力したファイル(拡張子が“.txt”のもの)を選択します。



- (4) 選択したファイルが「ResultFile」欄に表示されます。
 ここでは「Select File」ボタンによりファイルを選択しましたが、直接「ResultFile」欄にファイル名を入力しても構いません。



- (5) 「Title」欄を入力します。
 ここで入力した文字列がグラフの X 軸のラベルになります。



(6) 比較したいファイル分、(2)～(6)の手順を繰り返して下さい。

Title	Result file
Switch A	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_142857_SwitchCloseTimingSpread.txt
Switch B	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_143650_SwitchCloseTimingSpread.txt
Switch C	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_143721_SwitchCloseTimingSpread.txt
Switch D	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_143746_SwitchCloseTimingSpread.txt
Switch E	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_143814_SwitchCloseTimingSpread.txt
Switch F	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_143845_SwitchCloseTimingSpread.txt

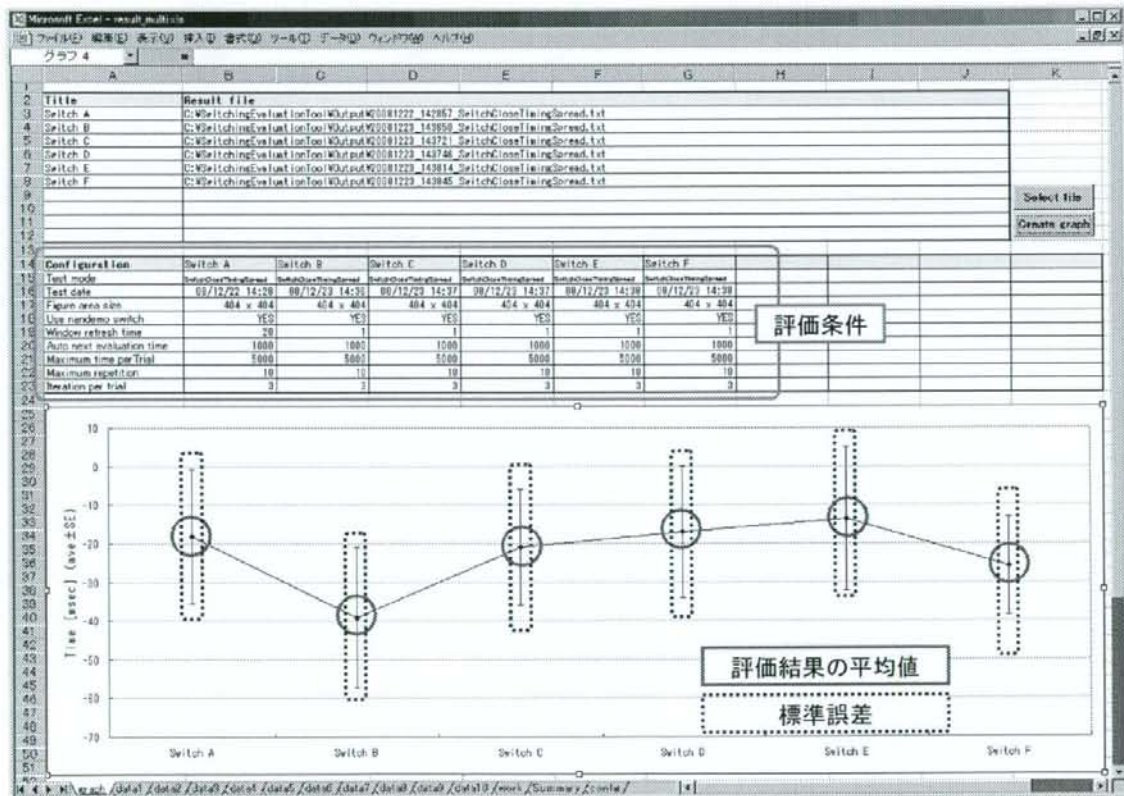
Select file
Create graph

(7) ファイルの内容を読み込みます。「Create graph」ボタンを押下して下さい。

Title	Result file
Switch A	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_142857_SwitchCloseTimingSpread.txt
Switch B	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_143650_SwitchCloseTimingSpread.txt
Switch C	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_143721_SwitchCloseTimingSpread.txt
Switch D	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_143746_SwitchCloseTimingSpread.txt
Switch E	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_143814_SwitchCloseTimingSpread.txt
Switch F	C:\SwitchingEvaluationTool\Output\20081223_143845_SwitchCloseTimingSpread.txt

Select file
Create graph

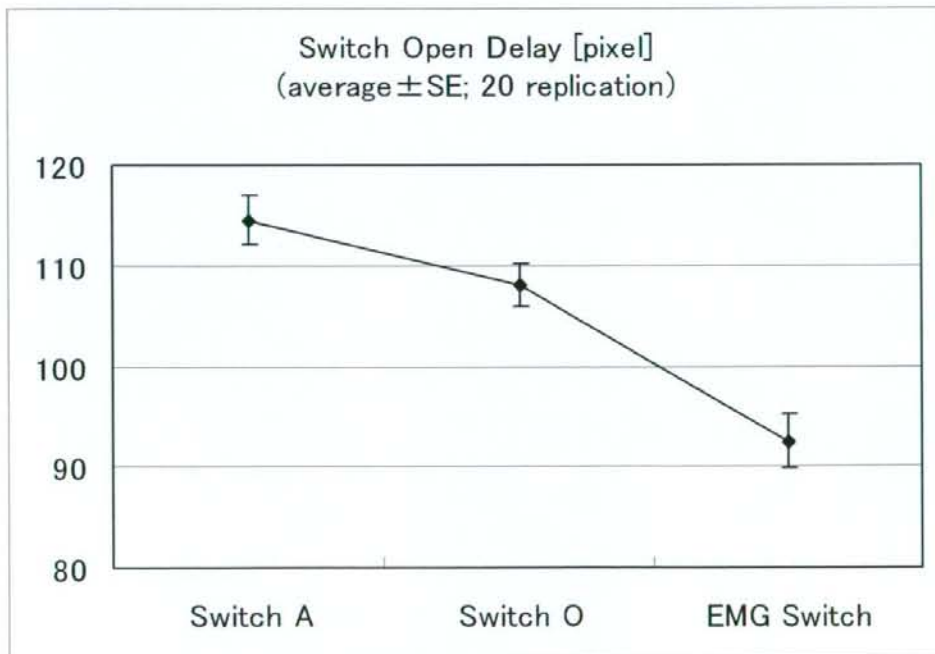
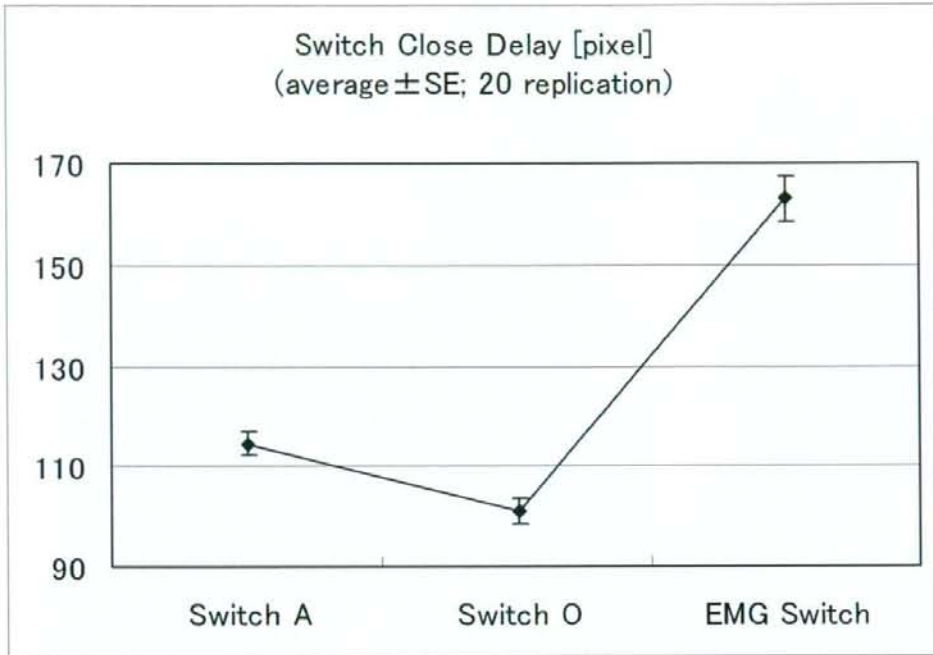
(8) 評価条件、各評価結果の平均値 及び 標準誤差がグラフ表示されます。



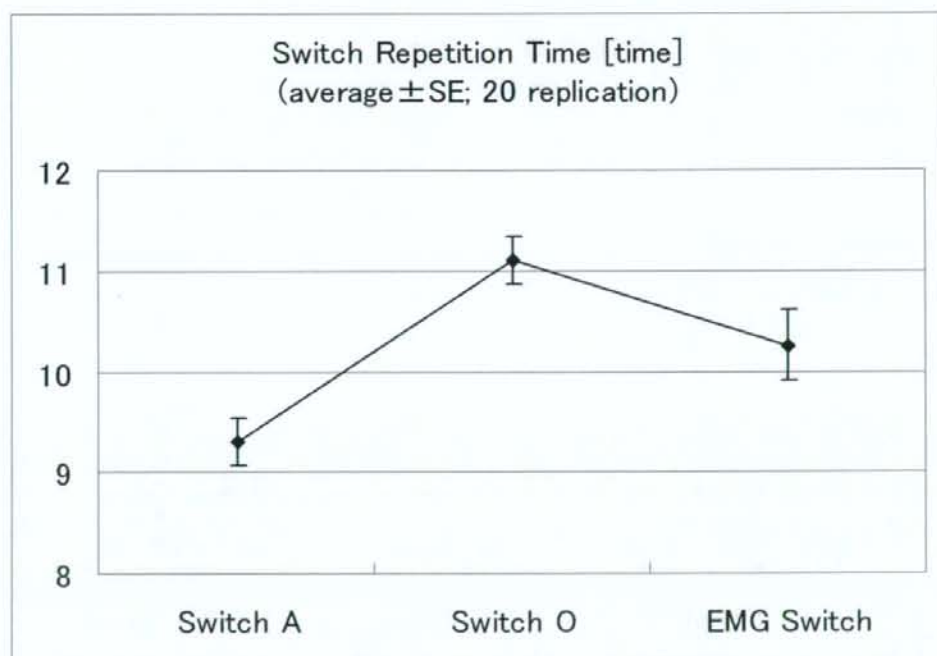
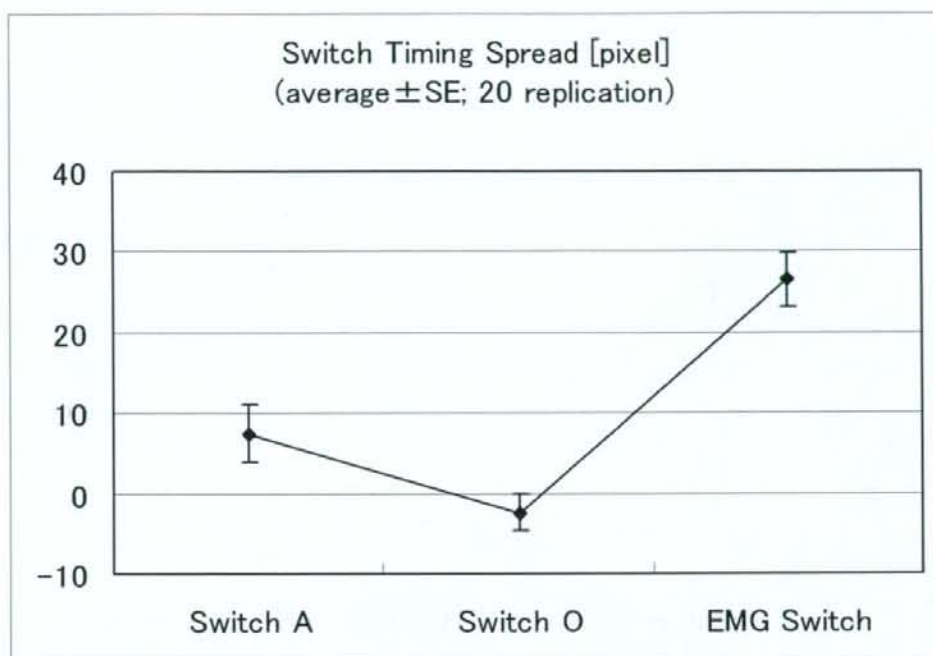
V. 添付資料 2

Switching Evaluation Tool Version 2.0 を用いた評価例

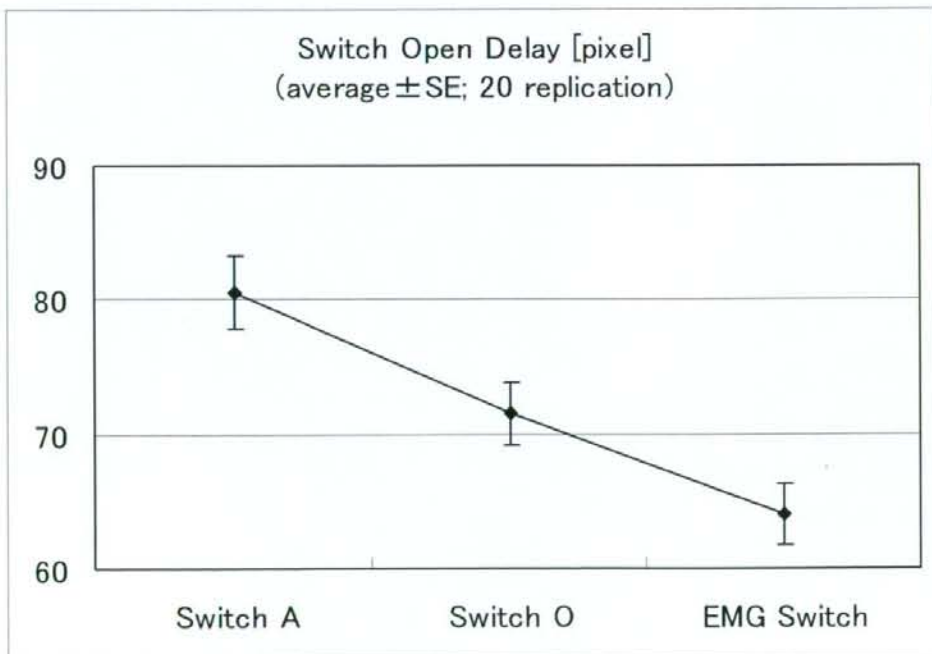
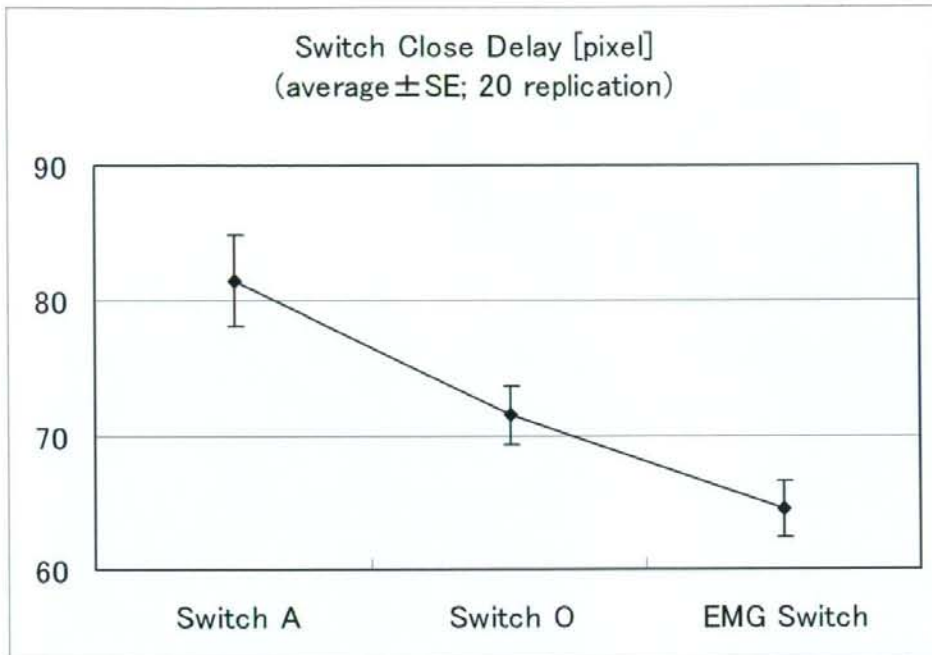
ケース 1



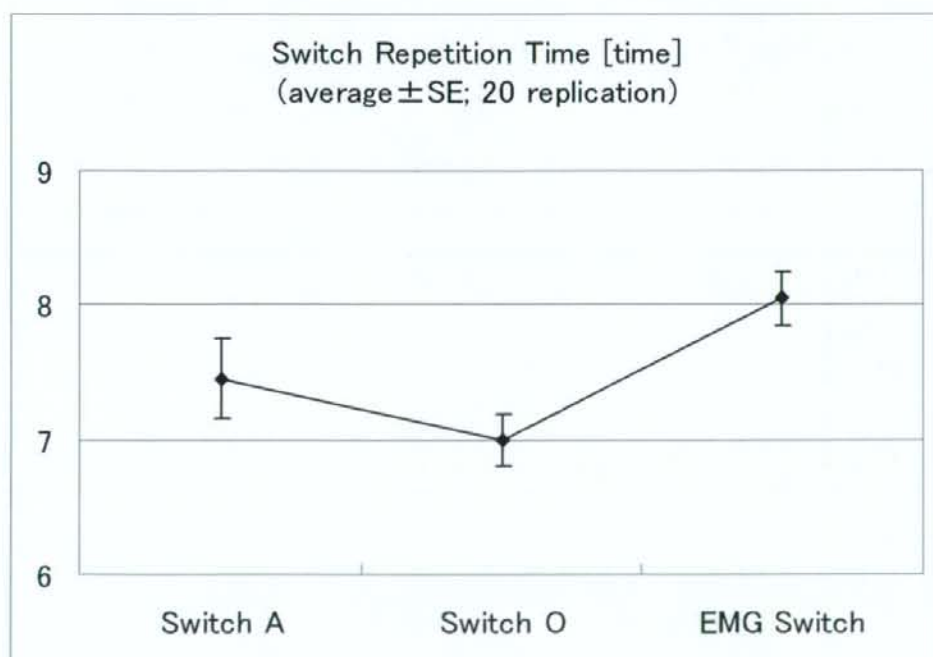
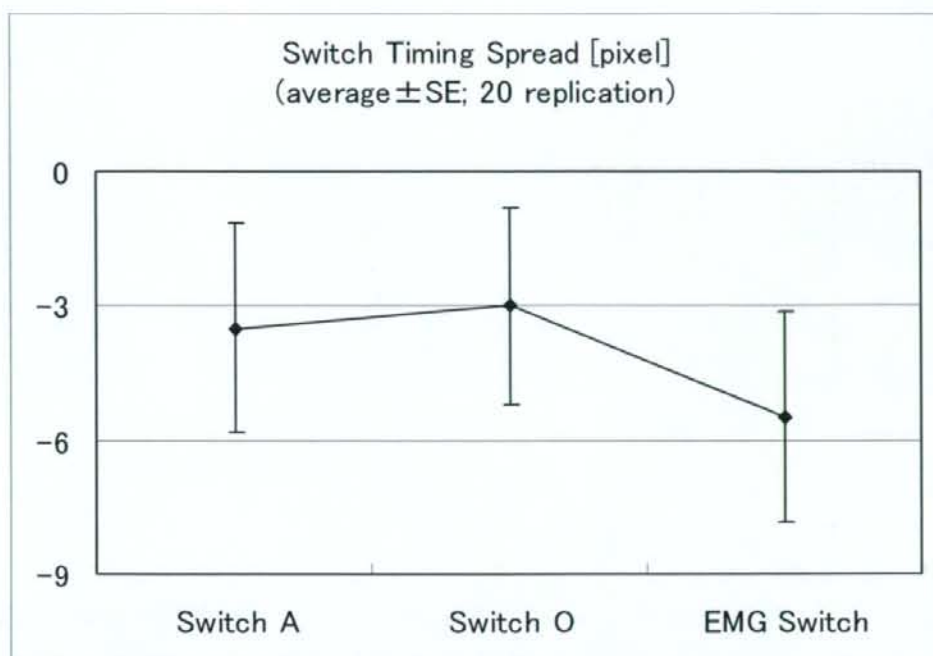
ケース 1



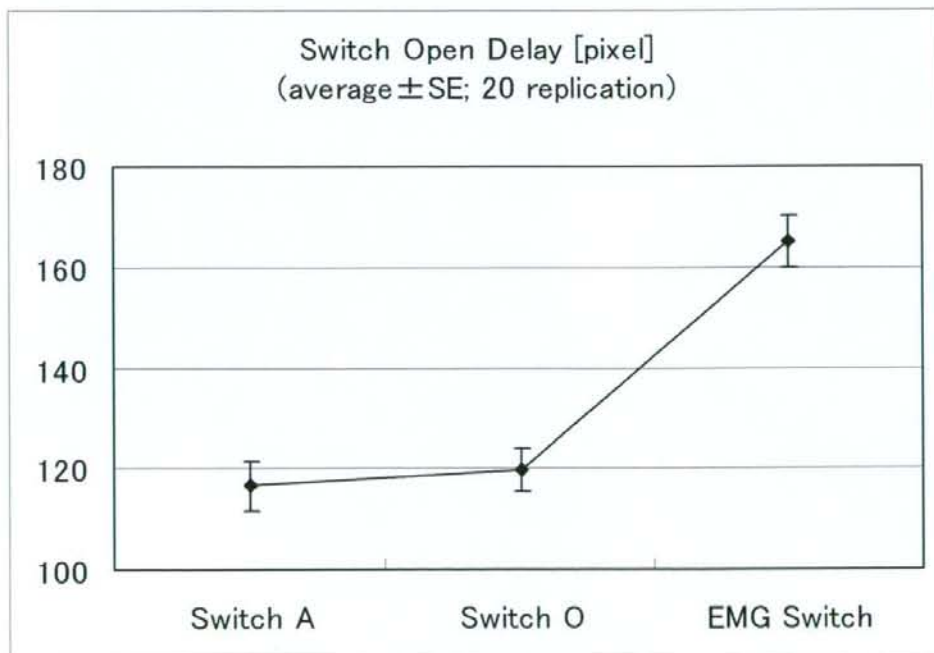
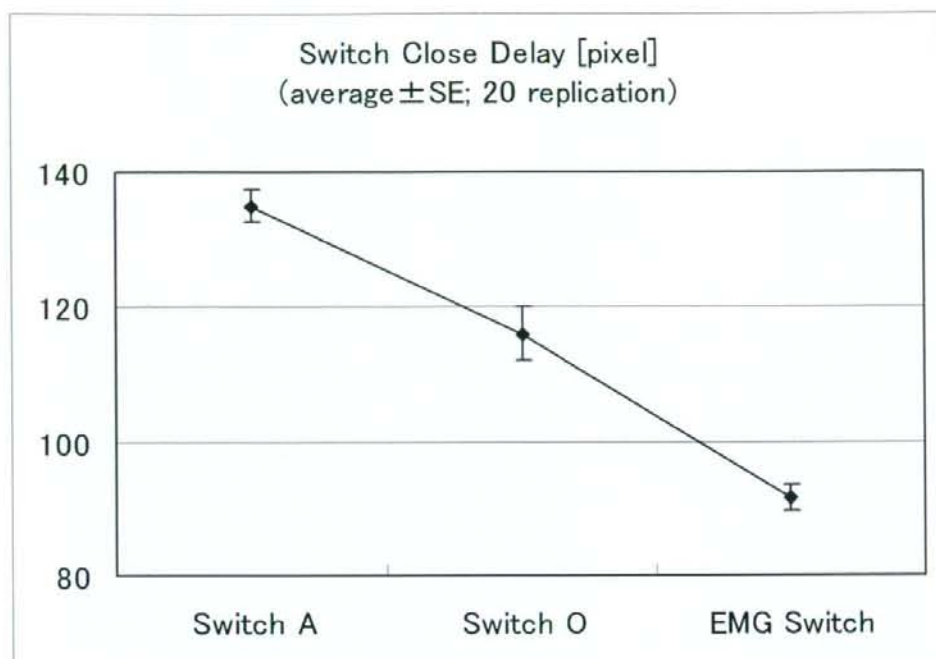
ケース 2



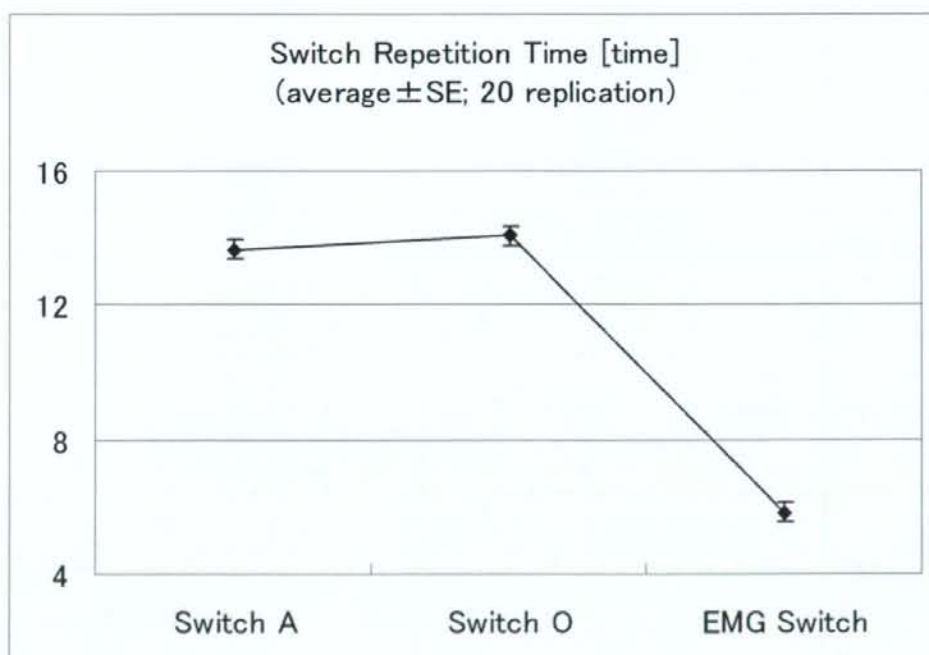
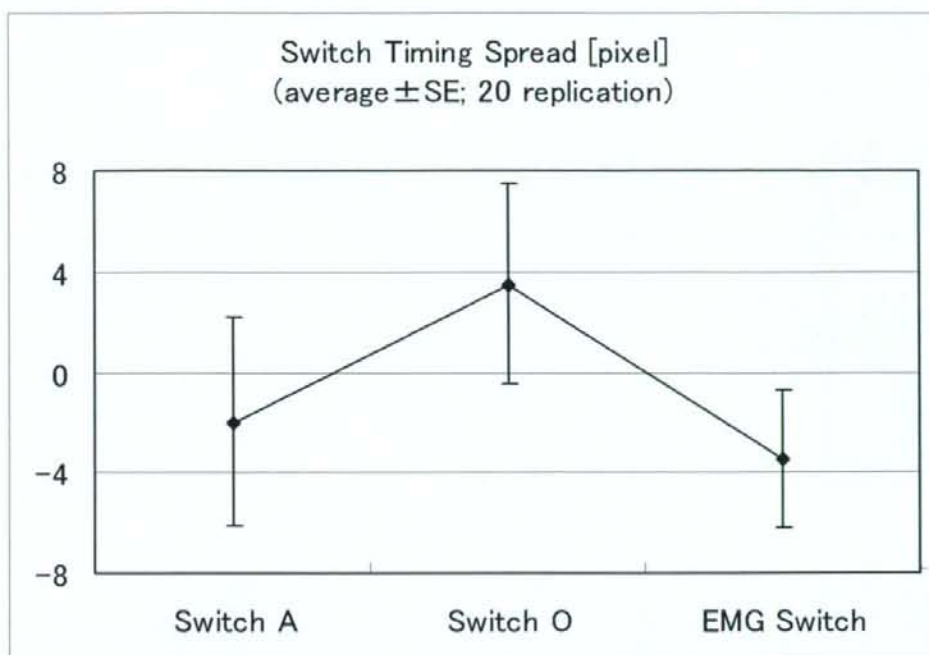
ケース 2



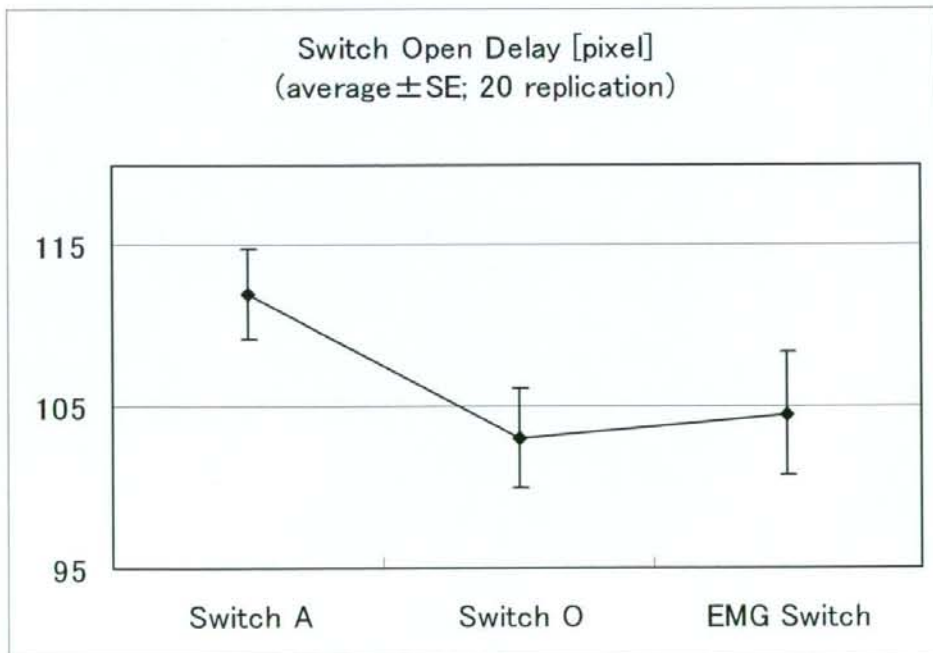
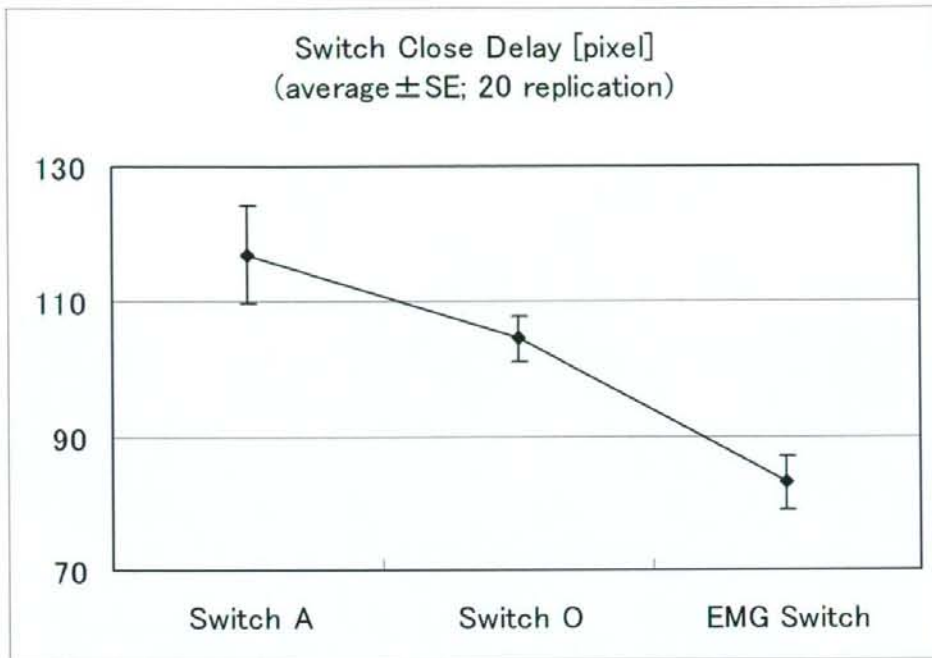
ケース 3



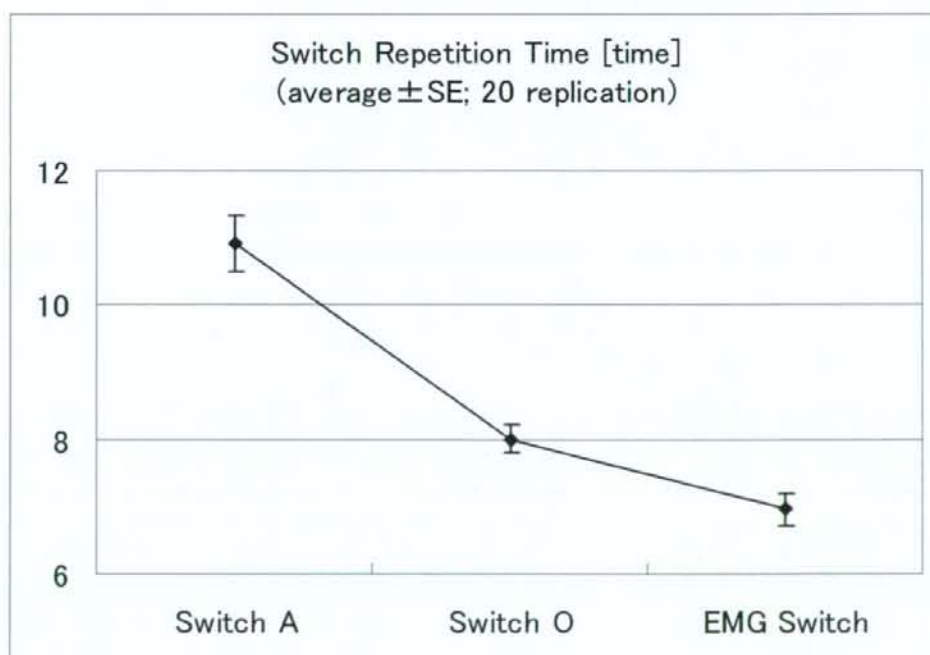
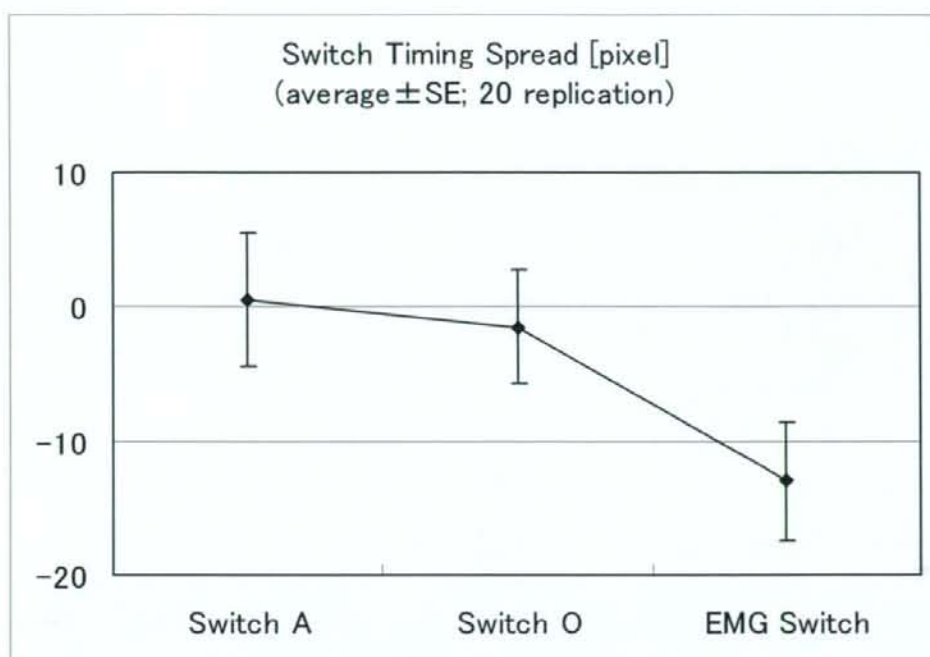
ケース 3



ケース 4



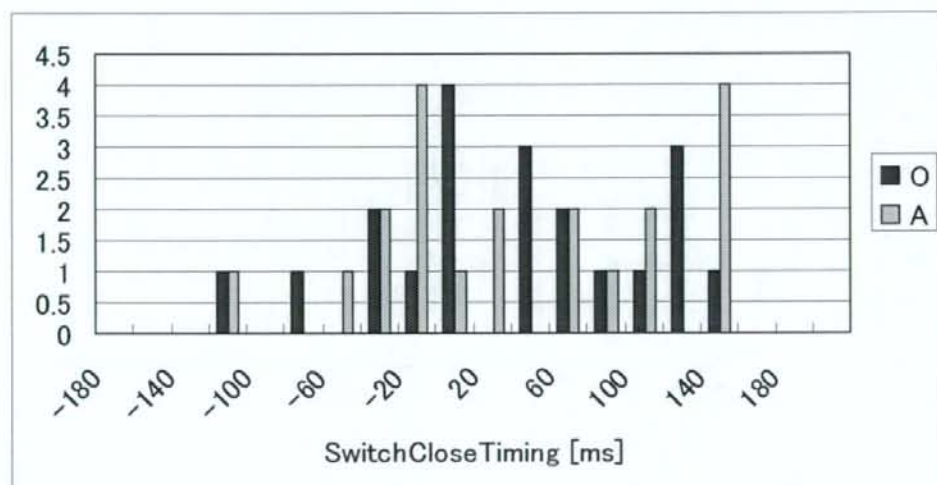
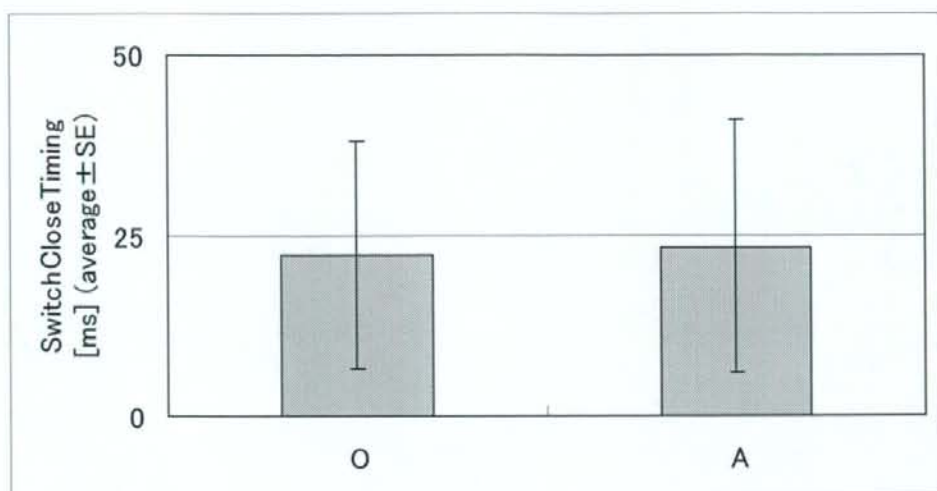
ケース 4



VI. 添付資料 3

Switching Evaluation Tool Version 2.1 を用いた評価例

ケース 1



ケース 1

